令和3年度 磐田市立磐田中部小学校 学校評価書

評価指標・・・学校評価アンケートの項目、番号は、学校評価アンケートの項目番号
割合・・・学校評価で「強く思う」「だいたいそう思う」と回答した児童・保護者・教師の平均値(単位は%)　前年比：緑は増、赤は減、水色は新設した指標
自己評価・・・昨年度と今年度の割合を比較したり、今年度の教育活動を総括したりして総合的に評価

	重点プランと数値目標		番号	評価指標	割合	自己評価	考察・改善
知育	学び合う喜びを実感する子 ・楽しく学習（国語）に取り組んでいます。（85%） ・友達の考えを自分の考えと比べながら聞いています。（80%）	学習理解	11	基礎基本的な学力が身に付いている	91	A	○学習理解について 「みんなで『できる・わかる』楽しい授業」という研修テーマの基、ユニバーサルデザインの考え方を授業に取り入れている。また、全国学力・学習状況調査における本校6年生の結果は、県や全国の平均を大きく上回っている。このようなことから、本校の児童の基礎学力は確実に定着していると考える。今後は、さらなる授業改善に取り組み、一人一人の子供が、考えを再構築できるような授業を目指していく。 ○学習用タブレット端末の活用について 感染症が拡大した際には、急な臨時休業や学級閉鎖に備えて学習用端末を毎日の持ち帰り、実際にオンラインによる双方向のやりとりのある授業も実施できた。今後も児童に貸与されたタブレット端末を多くの授業で活用していきたい。 ○読書について 進んで読書をしている割合は、微増である。次年度は、学期に各1回の読書週間を設定し、家庭での読書習慣の向上にも取り組んでいきたい。
			13	学習内容を理解している	92	A	
			12	家庭学習の習慣が身に付いている（学年×10分＋10分）	85	B	
		学習方法・態度	15	楽しく学習（国語）に取り組んでいる	86	A	
			26	友達の考えを自分の考えと比べなら聞く	85	A	
			23	進んで読書をしている	77	B	
		学習支援	16	教師は、よく分かるよう工夫して教えている	93	A	
徳育	自他の良さや違いを認め、自分も相手も大切にする子 ・進んで気持ちのよい挨拶をしています(75%) ・学級には互いにルールを守り、協力する雰囲気があります(90%) ・自分や友達の良さに気付き、大切にすることができます。（90%）	学校生活	1	楽しく学校に通っている	94	A	○学校生活について コロナウイルス感染症の収束が見えない令和3年度であったが、多くの子は楽しく学校生活を送ることができた。今後も、感染症の対策を十分に取り、子供たちが明るく元気よく生活できる環境を整えていきたい。 ○友達や自分の良さの気づきについて 「わたしっていいな あなたもいいね みんなのために」の合い言葉(本校の重点目標)が児童に浸透した。また、振り返りの会(帰りの会)に「いいねタイム」を設定することで、友達の良さを見付けることができる子が増えている。来年度は、自分の良さにも気づき、子供たちの自己肯定感や自己有用感を高めていきたい。 ○挨拶について 挨拶ができる子の割合は、少しずつであるが年々向上している。挨拶デーや挨拶ウィークを設定したり、自己チェックシートなどを活用したりして、子供たちの挨拶への意識の向上を図っていく。 ○歌うことについて コロナ禍において、歌うことに制限が必要となっているが、来年度は、感染症対策を取った上で伝統ある歌声発表会を実施する予定である。子供たちが音楽に親しむ場を設定していきたい。
			6	学級(学校)には、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある	90	A	
			3	異学年交流に、生き生きと楽しく活動に取り組んでいる	86	B	
			5	進んで声を出し、歌うことを楽しんでいる	73	C	
		児童理解	17	教師は、子供のことを理解して指導にあたっている	93	A	
		人間関係作り	8	進んで気持ちのよい挨拶をしている	73	B	
			2	相手の気持ちを考えた、あたたかな言葉づかいをしている	89	A	
			26	自分や友達の良さに気付き、大切にしている	95	A	
			7	学校に相談できる人（先生や友達）がいる	94	A	
体育	心身ともに健康をめざす子 ・めあてに向かって粘り強く運動に取り組む子(90%) ・バランスよくミニやごちゃんと食べることができる子(80%) ・感染症対策を習慣化している(90%) ・自分の気持ちを落ち着けるために、深呼吸をしている(90%)	運動	28	めあてに向かって粘り強く運動に取り組んでいる	89	A	○運動について コロナ禍ではあったが、感染症対策を取りながら、スポーツフェスティバルや持久走記録会を実施した。多くの子が、めあてに向かって粘り強く運動に取り組めた。 ○健康について 感染症に対する意識が向上し、その対策が習慣化されてきた。また、給食では、バランスよく食べることができる子が多い。今後も、コロナ禍における健康面への配慮や給食の指導などを継続していく。
		健康	29	バランスよくミニやごちゃんを食べている	88	A	
			30	感染症対策(手洗い,ﾏｽｸ,ｿｰｼｬﾙﾃﾞｨｽﾀﾝｽ)を習慣化している	95	A	
		生活習慣	4	基本的な生活習慣が身に付いている(靴の整頓や、時刻を守ることなど)	84	B	
			21	規則正しい生活をしている（早寝、早起き、朝ごはん）	90	A	
開かれた学校	地域と共にある学校 ・コミュニティスクールの推進 ・PTA活動の活性化 ・学校運営協議会の充実 ・いずみサポーターズ(学校支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ)	連携	22	保護者や地域からの協力を得て教育活動を進めている	97	A	○コロナ禍において、いずみサポーターズの活動に制限が多かったが、朝の見守りサポーター、草刈りサポーター、掛け算九九サポーターなど、地域や保護者の方に力をお借りしながら、教育活動を推進することができた。
			9	小中一貫教育で取り組んでいることを知っている	73	B	

学校関係者評価	○来年度の重点プランに「気持ちの良い挨拶」とありますが、中泉地区地域づくり協議会のテーマにも「地域や家庭での挨拶」を取り入れています。 ○コロナ禍で大変な中にあっても、着実な教育活動が展開されていることがよく分かりました。先生方の御努力・後配慮に敬意を表するばかりです。また、コミュニティ・スクールの取組が拡充発展している様子もよく分かりました。地域サポーター室の利活用方法を考えて、アフターコロナには地域と連携・協働した活動が一層なされることを願います。	学校関係者評価のまとめ	○課題の1つである挨拶については、中泉地区の方たちと連携を図り、家庭と地域、そして学校の三者が一丸となって取り組んでいきたい。 ○コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、行事の中止や教育活動の変更も多く、年間計画通りに教育を進めることができなことが多い1年であったが、できるところからコミュニティ・スクールの活動を推進することができた。今後も、地域の協力を得ながら、合い言葉「わたしっていいな あなたもいいね みんなのために」をさらに具現化できるよう教育を推進していきたい。